

分散 DB2 V9.1 データ・サーバーの比較

レベル：入門

[Paul Zikopoulos](mailto:paulz_ibm@msn.com) (paulz_ibm@msn.com)、Senior Specialist、IBM Competitive Team、IBM

2007年5月29日

2007年6月7日更新

(訳注) この文書は、上記時点の「Compare the distributed DB2 9 data servers」を翻訳したものです。翻訳内容に疑問のある場合や最新の情報は、こちらでご確認ください(英語)。

<http://www-128.ibm.com/developerworks/db2/library/techarticle/0301zikopoulos/0301zikopoulos1.html>

(訳注：2007年10月17日) DB2 V9.5の発表にともなって、タイトルのDB2 9をDB2 V9.1に変更しました。

著者 Paul Zikopoulos は、分散 IBM® DB2® 9 (DB2 9) データ・サーバー・ファミリー製品間の基本的なライセンス規則、機能、フィーチャーの違いについて並列構成の比較表で分かりやすく説明しています。

この記事をお読みになる前に、[特記事項](#)のセクションをご一読ください。

はじめに

「DB2 はどれも DB2」このフレーズは、分散プラットフォーム上で稼働する DB2 9 の購入可能なエディションおよび無償で入手可能な [DB2 Express-C](#) パッケージすべてに当てはまります。

簡単に言うと、この記憶に残るフレーズは、拡張が必要になった場合でも心配する必要がないことを意味しています。つまり、DB2 用に作成したアプリケーションは、DB2 でサポートしている分散プラットフォーム (Windows、HP-UX、Sun Solaris、Linux (System i、System p、System x、および System z サーバー上で稼働する)、および AIX®) で稼働する DB2 データ・サーバー上で動作します。実際に、開発者は [cross-family SQL reference book](#) を使用することで、ファミリー間で移植可能なアプリケーションを共通の SQL を使用して作成することができます。つまり、DB2 for Windows 用に作成されたアプリケーションを DB2 for z/OS™ に移植することも、DB2 for z/OS™ 用に作成されたアプリケーションを DB2 for Windows に移植することもできます。DB2 ファミリーの価値ある提案をさらに強化するために、[WebSphere Federation Server](#) のような製品を使用して、IBM 以外のリレーショナル・データベース (Oracle や SQL Server) にトランスペアレントにアクセスできるように DB2 SQL API を拡張することによって、情報統合の問題を解決し、非リレーショナル・データ・ソース (XML スキーマ、メッセージ・キュー、VSAM、IMS など) をリレーショナル表に実体化することができます。これにより、全社的な共通データ・モデルを作成することができます。DB2 では、データの保管場所に関係なく、そのデータへのインプレース・アクセスが可能になります。

DB2 には、評判の高い DB2 Express-C のオフラインやそのオプションとしての期限付き使用権 (FTL : Fixed Term License) サポート・パッケージなど、さまざまなエディションとパッケージがあります (細かいことですが、DB2 Express-C は通常、DB2 のエディションではなくパッケージと呼ばれています)。DB2 エディションおよびパッケージはすべて同一のコード・ベースを使用しています。これらのエディションおよびパッケージは、機能やライセンス取得方法だけが異なり、DB2 で使用できる適切な機能、フィーチャー、および利点を適切なターゲット・マーケットに適切な料金で割り当てることができます。繰り返しになりますが、基礎となるテクノロジーは必ず DB2 であるため、ポータビリティ、可用性、使いやすさを気にせずに、使用するエディションを決定することができます。さらに、無償の DB2 Express-C エンジン用にアプリケーションを作成した場合、そのアプリケーションは DB2 Personal Edition (DB2 Personal)、DB2 Express Edition (DB2 Express)、DB2 Workgroup Edition (DB2 Workgroup)、および DB2 Enterprise Edition (DB2 Enterprise) でも実行できます。

お客様 (および BP 担当者および弊社担当者) は、分散 DB2 データ・サーバー・ファミリーに含まれるライセンス規則、機能、およびフィーチャーを素早く比較するための資料が必要になることがよくあります。この記事では、「どのエディションまたはパッケージにどのような機能が含まれているか」というお客様からの最も一般的な質問について、2007 年第 2 四半期現在の各 DB2 サーバー・エディションとパッケージを比較して、簡単な表に示しています。また、この記事では、DB2 Warehouse エディションなどの特別なワークロード・パッケージを取り上げていないことに注意してください。

これは決して、この記事と付属の下の表が不完全なものであるという意味ではありません。私は、お客様とお話しする場合でも、講演の場合でも、質問の 80% にはお答えするようにしています (この記事で説明されていないトピックについて質問がある場合は、私宛てに電子メールをお送りください。今後更新する際に追加いたします)。分散 DB2 エディションは、ロシアン・ドールのようなものです。ここで説明している特定の機能を除いて、あるエディションに含まれている機能が別のエディションにも含まれる形になっています。DB2 Express-C と DB2 Express-C FTL の場合は、多くの機能がそのパッケージ内に含まれていないため、このような一般原則が若干複雑になっています。この点については、特にこの記事の後半で説明します。簡単に言えば、この記事では、一般的な機能で、すべてのエディションとパッケージで同様にライセンスされる機能については説明していません。たとえば、Self Tuning Memory Manager (STMM) は、すべての分散 DB2 データ・サーバー・エディションまたはパッケージに含まれているため、以下の表には示してありません。

使いやすい比較表

表 1 に示す比較表は、どの DB2 エディションまたはパッケージがお客様に適しているかが簡単に分かるように作成されています。この表に記載されていない機能は、(多くの場合) 表中のすべてのエディションに含まれている機能であるとお考えください。DB2 V8 で変更された機能で、すべての DB2 エディションまたはパッケージにまだ含まれているものは、この表に記載さ

れています。DB2 の各エディションの詳細については、Paul Zikopoulos 著の「[Which distributed edition of DB2 is right for you?](#)」(最適な DB2 のエディションを選択するには) を参照してください。この記事では DB2 Express-C の詳細も更新されています。

表 1 : DB2 Express-C, DB2 Express-C FTL, DB2 Express, DB2 Workgroup, DB2 Enterprise の比較

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
どのプラットフォームをサポートしているか (サポートされている最新のプラットフォームは括弧内に示しています)	Windows および Linux (System i, System p, および System x) サーバー	Windows および Linux (System i, System p, および System x) サーバー	Windows, Solaris x86, および Linux (System i, System p, および System x) サーバー	Windows, Linux (System i, System p, および System x), AIX, Solaris (SPARC と x86), および HP-UX (IA-64)	Windows, Linux (System i, System p, System z, および System x), AIX, Solaris (SPARC と x86), および HP-UX (PA-RISC と IA-64)
Value Unit (プロセッサとも呼ばれる) または許可ユーザー単位のライセンスが適用されるか	適用されません。 DB2 Express-C は無償の DB2 パッケージですが、いくつかの制限があります (この記事では主に DB2 データ・サーバー・エディションを対象としています。いくつかの制限は、この記事で詳しく説明しています)。DB2 Express-C は 2 以下のプロセッサおよびメモリー 4 GB 以下の制限があります。	適用されません。サーバー単位のライセンスです。 DB2 Express-C FTL を使用する場合は、DB2 Express-C サーバーの年間サポート契約を購入します。このパッケージでは 1 年ごとに期限付きサポート契約料金 (MySQL のサポート料金と同じ 2,995 ドル) だけを支払います。DB2 Express-C FTL の購入では、ユーザー数、サーバーの Value Unit の換算、コアなどを考慮する必要はありません。サーバーが 5 台の場合は、ライセンスが 5 つ必要なのでシンプルです。DB2 Express-C FTL の単位は DB2 Express-C と同様の考え方です。特に、2 以下のプロセッサとメモリー 4 GB 以下の制限があります。	はい。 DB2 Express は許可ユーザー・ライセンスまたは対象となるサーバーの Value Unit 数に基づくプロセッサ単位でライセンスできます。 許可ユーザーの場合は、DB2 Express サーバーに接続するユーザーごとに料金を支払います。同じユーザーが 2 つの DB2 Express データ・サーバーに接続する場合は、許可ユーザー 2 人分のライセンスが必要になります。さらに、この製品で許可ユーザー・ライセンスを使用する場合は、最低限 5 人分の許可ユーザー・ライセンスが必要です。 DB2 Express のプロセッサ・ライセンスも使用できます。この場合はユーザー数をカウントする必要はありません。DB2 の	はい。 DB2 Workgroup は許可ユーザー・ライセンスまたは対象となるサーバーの Value Unit 数に基づくプロセッサ単位でライセンスできます。 許可ユーザーの場合は、DB2 Workgroup サーバーに接続するユーザーごとに料金を支払います。同じユーザーが 2 つの DB2 Workgroup データ・サーバーに接続する場合は、許可ユーザー 2 人分のライセンスが必要になります。さらに、この製品で許可ユーザー・ライセンスを使用する場合は、最低限 5 人分の許可ユーザー・ライセンスが必要です。 DB2 Workgroup のプロセッサ・ライセンスも使用できます。このライセンスではユーザー数をカウント	はい。 DB2 Enterprise は許可ユーザー・ライセンスまたは対象となるサーバーの Value Unit 数に基づくプロセッサ単位でライセンスできます。 許可ユーザーの場合は、DB2 Enterprise サーバーに接続するユーザーごとに料金を支払います。同じユーザーが 2 つの DB2 Enterprise データ・サーバーに接続する場合は、許可ユーザー 2 人分のライセンスが必要になります。さらに、この製品で許可ユーザー・ライセンスを使用する場合は、この製品がインストールされている各サーバーの 100 VU ごとに最低限 25 人分の許可ユーザー・ライセンスが必要です。 たとえば、課金単位が 400 VU のサーバーに DB2 Enterprise をインストールする場合、少なくとも 100 人分の許可ユーザー・ライセンスが必要です。ご使用の環境でのユーザー数

機能、フィーチャー および利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
			プロセッサ・ライセンスは物理サーバーの Value Unit (VU) 数によりライセンスされます。	する必要がありません。DB2 のプロセッサ・ライセンスは物理サーバーの Value Unit (VU) 数によりライセンスされます。	が 25 人だけであっても、このライセンスを使用する場合は、最低限 100 VU ごとに 25 人分の許可ユーザー・ライセンスが含まれた DB2 Enterprise をライセンスしなければならないため、100 人分の許可ユーザー・ライセンスを購入する必要があります。ご使用の環境でのユーザー数が 125 人の場合、100 VU ごとに 25 人という最低限の課金単位を超えているため、この例では、125 人分の許可ユーザー・ライセンスが必要です。 DB2 Enterprise のプロセッサ・VU ライセンスも使用できます。このライセンスではユーザー数をカウントする必要がありません。DB2 のプロセッサ・ライセンスは物理サーバーの Value Unit (VU) 数によりライセンスされます。
<u>Value Unit</u> の制限はあるか	適用されません。 (訳注：翻訳者の判断で以下省略)	適用されません。 (訳注：翻訳者の判断で以下省略)	200 DB2 Express は、最大の課金単位が 200 VU のサーバーにインストールできます。	400 DB2 Workgroup は、最大の課金単位が 400 VU のサーバーにインストールできます。	無制限
サブ・キャパシティ単位のライセンスが正式に認められているか (LPAR、DLPAR など)	仮想マシン・テクノロジー上では、DB2 サーバー導入ごとに数える。 (訳注：翻訳者の判断で以下省略。ご質問のある場合は、弊社営業担当へお問い合わせください。)	仮想マシン・テクノロジー上では、DB2 サーバー導入ごとに数える。 (訳注：翻訳者の判断で以下省略。ご質問のある場合は、弊社営業担当へお問い合わせください。)	いいえ。	いいえ。	はい。
DB2 ソフトウェアをインストールする際にメモ	はい。4 GB。 この制限は、DB2	はい。4 GB。 この制限は、DB2	はい。4 GB。 この制限は、DB2	はい。16 GB。 この制限は、サー	いいえ。制限はありません。

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
<p>リーの制限はあるか</p>	<p>Express-C データ・サーバーをいずれかのサーバーで使用するために構成可能な最大のメモリー・サイズです。たとえば、DB2 Express-C を 16 GB の RAM を持つサーバーにインストールできますが、DB2 Express-C データ・サーバーが 4 GB にアドレス指定するように、最大のメモリー・サイズを明示的に設定する必要があります。</p>	<p>Express-C FTL データ・サーバーをいずれかのサーバーで使用するために構成可能な最大のメモリー・サイズです。たとえば、DB2 Express-C を 16 GB の RAM を持つサーバーにインストールできますが、DB2 Express-C FTL データ・サーバーが 4 GB にアドレス指定するように、最大のメモリー・サイズを明示的に設定する必要があります。</p>	<p>Express データ・サーバーをいずれかのサーバーで使用するために構成可能な最大のメモリー・サイズです。たとえば、DB2 Express を 16 GB の RAM を持つサーバーにインストールできますが、DB2 Express データ・サーバーが 4 GB にアドレス指定するように、最大のメモリー・サイズを明示的に設定する必要があります。</p>	<p>サーバー単位です。DB2 Express-C や DB2 Express とは異なり、DB2 Workgroup データ・サーバーは、使用するメモリー量を制限しても 16 GB を超える RAM を持つサーバーにはインストールできません（理由はよく分かりませんが、この記事の最新版が発行された時点ではライセンスはそうになっていました。変更されるように望みます。これが問題となる場合は、IBM 営業担当にお問い合わせください）。</p>	
<p>IBM の有名な 24 時間、365 日のエンジニア直結のサポート・モデルと、バグの修復のためのセット・メンテナンス・ストリームはあるか</p>	<p>いいえ。 DB2 Express-C はサポートがありません。したがって、セット・メンテナンス・ストリーム (FixPack) またはエンジニア直結の電話サポートはありません。なお、サポート付きの DB2 データ・サーバーでは事前に定義された保守スケジュールがありますが、DB2 Express-C は必ずしもそうではありません。また、支援が必要な場合、DB2 Express-C には DB2 のエンジニアによって自動的にモニターされている support forum がありますが、このプロセスで得られるサービスのレベルは保証されてはいません。</p>	<p>はい。 DB2 Express-C FTL ではサポートが提供されるので、他のサポート付きの DB2 データ・サーバーと同様のエンジニア直結のサポートや保守スケジュールがあります。これらの点（高可用性のサポートとレプリケーションとともに）が、DB2 Express-C と DB2 Express-C FTL との違いです。</p>	<p>はい。</p>	<p>はい。</p>	<p>はい。</p>

機能、フィーチャー および利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
<p><u>DB2 Connect™</u>を一 緒にインストールできる か</p>	<p>はい。</p> <p>DB2 for i5/OS およ び DB2 for z/OS データ・サーバー に接続する場合 は、DB2 Connect を 購入する必要があります。購入する DB2 Connect のエ ディションは、 サーバー・エディ ションでなければ なりません。つま り、DB2 Connect Personal Edition を 購入して、サー バーに配置するこ とはできません。 DB2 Connect エディ ションの選択は、 ユーザー数、MIPS の増加、アプリ ケーション・サー バーの増大、フェ デレーション要件 などのさまざまな 要因に基づいて行 われます。</p>	<p>はい。</p> <p>DB2 for i5/OS およ び DB2 for z/OS データ・サーバー に接続する場合 は、DB2 Connect を 購入する必要があります。購入する DB2 Connect のエ ディションは、 サーバー・エディ ションでなければ なりません。つま り、DB2 Connect Personal Edition を 購入して、サー バーに配置するこ とはできません。 DB2 Connect エディ ションの選択は、 ユーザー数、MIPS の増加、アプリ ケーション・サー バーの増大、フェ デレーション要件 などのさまざまな 要因に基づいて行 われます。</p>	<p>はい。</p> <p>DB2 for i5/OS およ び DB2 for z/OS データ・サーバー に接続する場合 は、DB2 Connect を 購入する必要があります。購入する DB2 Connect のエ ディションは、 サーバー・エディ ションでなければ なりません。つま り、DB2 Connect Personal Edition を 購入して、サー バーに配置するこ とはできません。 DB2 Connect エディ ションの選択は、 ユーザー数、MIPS の増加、アプリ ケーション・サー バーの増大、フェ デレーション要件 などのさまざまな 要因に基づいて行 われます。</p>	<p>はい。</p> <p>DB2 for i5/OS およ び DB2 for z/OS データ・サーバー に接続する場合 は、DB2 Connect を 購入する必要があります。購入する DB2 Connect のエ ディションは、 サーバー・エディ ションでなければ なりません。つま り、DB2 Connect Personal Edition を 購入して、サー バーに配置するこ とはできません。 DB2 Connect エディ ションの選択は、 ユーザー数、MIPS の増加、アプリ ケーション・サー バーの増大、フェ デレーション要件 などのさまざまな 要因に基づいて行 われます。</p>	<p>はい。</p> <p>DB2 for i5/OS およ び DB2 for z/OS データ・ サーバーに接続する場 合は、DB2 Connect を 購入する必要があります。購入する DB2 Connect のエディショ ンは、サーバー・エ ディションでなければ なりません。つまり、 DB2 Connect Personal Edition を購入して、 サーバーに配置するこ とはできません。DB2 Connect エディション の選択は、ユーザー 数、MIPS の増加、ア プリケーション・サー バーの増大、フェデ レーション要件などの さまざまな要因に基づ いて行われます。</p> <p>なお、DB2 Enterprise には DB2 Connect のラ イセンスは用意されて いないので注意してく ださい。</p>
<p><u>高可用性構成が可能か</u></p>	<p>いいえ。</p> <p>高可用性のため に、どのような種 類であってもクラ スタリング・ソフ トウェアを使用し て、DB2 Express - C サーバーをクラス ター化することは できません。たと えば、Microsoft Clustering Services または SteeleEye に よるクラスタリン グ。</p>	<p>はい。</p> <p>DB2 Express-C FTL には、高可用性の ためにのデータ・ サーバーをクラス タリングして使用 するためのライセ ンスが含まれてい ます。2つの DB2 Express-C FTL デー タ・サーバーを高 可用性クラスター 構成でクラスター 化する場合は、ス タンバイ・サー バーがトランザク ションに対してア クティブにサービ スを提供していな い場合でも、クラ スター内の各サー バーのライセンス が必要です。</p>	<p>はい。</p>	<p>はい。</p>	<p>はい。</p>

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
<p>High Availability Disaster Recovery (HADR)?を使用できるか</p> <p>DB2 HADR は、パーティショニングされていない DB2 データ・サーバーに対してすぐに使用できる高可用性および災害時リカバリー・サポートを提供する機能です。</p>	<p>いいえ。</p> <p>DB2 Express-C は HADR をサポートしていません。DB2 Express-C は、クラスタリング・ソフトウェアを使用して高可用性環境で使用することは許可されていません。</p>	<p>はい。含まれています。</p> <p>DB2 Express-C FTL には、HADR をサポート・コンポーネントの一部として使用するためのライセンスが含まれています。HADR を使用するように DB2 Express-C FTL を構成する場合は、<i>両方</i>のサーバーに DB2 Express-C FTL のライセンスを購入する必要があります。</p>	<p>アドオン。</p> <p>このエディションに対応する High Availability Feature Pack を購入することで、DB2 Express データ・サーバーで HADR を使用できます。</p> <p>通常の DB2 データ・サーバーと高可用性ライセンス規則の他に、この Feature Pack は、プライマリー・サーバー上のすべての VU と、HADR フェイルオーバー・パートナー (スタンバイ・サーバー) の 100 VU 分をライセンスする必要があります。</p>	<p>アドオン。</p> <p>このエディションに対応する High Availability Feature Pack を購入することで、DB2 Workgroup データ・サーバーで HADR を使用できます。</p> <p>通常の DB2 データ・サーバーと高可用性ライセンス規則の他に、この Feature Pack は、プライマリー・サーバー上のすべての VU と、HADR フェイルオーバー・パートナー (スタンバイ・サーバー) の 100 VU 分をライセンスする必要があります。</p>	<p>はい。</p> <p>HADR 機能は DB2 Enterprise の標準機能として含まれています。DB2 データ・サーバーの高可用性ライセンス規則で求められる以上のライセンスを必要としません。</p>
<p>64 ビットのインスタンスはサポートされているか</p>	含まれています。	含まれています。	含まれています。	含まれています。	含まれています。
<p>ラベル・ベースのアクセス制御 (Label Based Access Control : LBAC) を使用できるか</p>	使用できません。	使用できません。	使用できません。	使用できません。	アドオン。 DB2 9 にラベル・ベースのセキュリティーを実装するには、DB2 Enterprise を使用し、 Advanced Access Control Feature Pack を購入する必要があります。
<p>コネクション・コンセントレーター (Connection Concentration) を使用できるか</p>	<p>いいえ。</p> <p>この機能は、DB2 Express-C 環境では使用できません。</p>	<p>いいえ。</p> <p>この機能は、DB2 Express-C FTL 環境では使用できません。</p>	<p>アドオン。</p> <p>このエディションに対応する Workload Management Feature Pack を購入することで、Connection Concentrator を DB2 Express サーバーで使用できます。この Feature Pack には、DB2 Governor および DB2 Query Patroller も含まれています。</p>	<p>アドオン。</p> <p>このエディションに対応する Workload Management Feature Pack を購入することで、Connection Concentrator を DB2 Workgroup サーバーで使用できます。この Feature Pack には、DB2 Governor および DB2 Query Patroller も含まれていま</p>	含まれています。

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
				す。	
DB2 Governor (ガバナー) ? を使用できるか	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C 環境では使用できません。	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C FTL 環境では使用できません。	アドオン。 このエディションに対応する Workload Management Feature Pack を購入することで、DB2 Governor を DB2 Express サーバーで使用できます。この Feature Pack には、Connection Concentrator および DB2 Query Patroller も含まれています。	アドオン。 このエディションに対応する Workload Management Feature Pack を購入することで、DB2 Governor を DB2 Workgroup サーバーで使用できます。この Feature Pack には、Connection Concentrator および DB2 Query Patroller も含まれています。	含まれています。
Materialized Query Tables (MQT: マテリアライズ照会表) (キャッシュ・テーブル) を使用できるか	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C 環境では使用できません。	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C FTL 環境では使用できません。	アドオン。 このエディションに対応する Performance Optimization Feature Pack を購入することで MQT を作成できます。DB2 Express 用のこの Feature Pack を購入すると、多次元クラストリング (MDC) ・テーブルと照会並列処理 (Query Parallelism) も含まれています。 DB2 Express を BI 関連のワークロードに使用する場合は、この機能を真剣に検討する必要があります。	アドオン。 このエディションに対応する Performance Optimization Feature Pack を購入することで MQT を作成できます。DB2 Workgroup 用のこの Feature Pack を購入すると、多次元クラストリング (MDC) ・テーブルと照会並列処理 (Query Parallelism) も含まれています。 DB2 Workgroup を BI 関連のワークロードに使用する場合は、この機能を真剣に検討する必要があります。	含まれています。 MQT は DB2 Enterprise のライセンスの一部として含まれています。なお、このエディションの Performance Optimization Feature Pack に含まれているものは DB2 Query Patroller 製品と DB2 Performance Expert ツールです。同じ Feature Pack の名前で DB2 Express と DB2 Workgroup で異なるコンポーネントが含まれていますので、間違えないようご注意ください。
Multidimensional Clustering (多次元クラストリング) Tables (MDC) を使用できるか	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C 環境では使用できません。	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C FTL 環境では使用できません。	アドオン。 このエディションに対応する Performance Optimization Feature Pack を購入することで MDC テーブルを作成できます。この Feature Pack には、MQT と照会並	アドオン。 このエディションに対応する Performance Optimization Feature Pack を購入することで MDC テーブルを作成できます。この Feature Pack には、MQT と照会並	含まれています。 MDC は DB2 Enterprise の機能として含まれています。なお、このエディションの Performance Optimization Feature Pack に含まれているものは DB2 Query Patroller 製品と DB2

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
			列処理(Query Parallelism)も含まれています。 DB2 Express を BI 関連のワークロードに使用する場合は、この機能を真剣に検討する必要があります。	列処理(Query Parallelism)も含まれています。 DB2 Workgroup を BI 関連のワークロードに使用する場合は、この機能を真剣に検討する必要があります。	Performance Expert ツールです。同じ Feature Pack の名前で DB2 Express と DB2 Workgroup で異なるコンポーネントが含まれていますので、間違えないようご注意ください。
Query Parallelism(照会並列処理) を使用できるか	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C 環境では使用できません。	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C FTL 環境では使用できません。	アドオン。 このエディションに対応する Performance Optimization Feature Pack を購入することで照会用に照会並列処理機能を使用できます。この Feature Pack には、MQT と MDC の使用ライセンスも含まれています。 DB2 Express を BI 関連のワークロードに使用する場合は、この機能を真剣に検討する必要があります。	アドオン。 このエディションに対応する Performance Optimization Feature Pack を購入することで照会用に照会並列処理機能を使用できます。この Feature Pack には、MQT と MDC の使用ライセンスも含まれています。 DB2 Workgroup を BI 関連のワークロードに使用する場合は、この機能を真剣に検討する必要があります。	含まれています。 照会並列処理は DB2 Enterprise の標準機能として含まれていません。このエディションの Performance Optimization Feature Pack に含まれているものは DB2 Query Patroller 製品と DB2 Performance Expert ツールです。同じ Feature Pack の名前で DB2 Express と DB2 Workgroup で異なるコンポーネントが含まれていますので、間違えないようご注意ください。
Deep Data Row Compression (データ行圧縮) を使用できるか	使用できません。 ただし、 DB2 スペース圧縮 を使用すれば、DB2 で内部的に使用されるデータおよびストレージ構造を表現して、スペースの使用を最適化することができます。この圧縮では、入力される値の重複を削除して、1つのコピーだけを保管します。保管されたコピーは、保管された値へのすべての参照の位置を追跡します。この DB2 組み込み機能は、データ行圧縮アプローチで使用	使用できません。 ただし、 DB2 スペース圧縮 を使用すれば、DB2 で内部的に使用されるデータおよびストレージ構造を表現して、スペースの使用を最適化することができます。この圧縮では、入力される値の重複を削除して、1つのコピーだけを保管します。保管されたコピーは、保管された値へのすべての参照の位置を追跡します。この DB2 組み込み機能は、データ行圧縮アプローチで使用	使用できません。 ただし、 DB2 スペース圧縮 を使用すれば、DB2 で内部的に使用されるデータおよびストレージ構造を表現して、スペースの使用を最適化することができます。この圧縮では、入力される値の重複を削除して、1つのコピーだけを保管します。保管されたコピーは、保管された値へのすべての参照の位置を追跡します。この DB2 組み込み機能は、データ行圧縮アプローチで使用	使用できません。 ただし、 DB2 スペース圧縮 を使用すれば、DB2 で内部的に使用されるデータおよびストレージ構造を表現して、スペースの使用を最適化することができます。この圧縮では、入力される値の重複を削除して、1つのコピーだけを保管します。保管されたコピーは、保管された値へのすべての参照の位置を追跡します。この DB2 組み込み機能は、データ行圧縮アプローチで使用	アドオン。 DB2 9 で使用できるデータ行圧縮を利用するには、 Storage Optimization Feature Pack を購入する必要があります。この Feature Pack は、DB2 Enterprise データ・サーバーでのみ使用でき、Value Unit 単位でのみ購入できます (ユーザー課金のライセンスはありません)。この Feature Pack にはバックアップ圧縮機能も含まれています。

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
	できる圧縮とはまったく異なるもので、特定のスキーマに対する使用のみに限定されます。	できる圧縮とはまったく異なるもので、特定のスキーマに対する使用のみに限定されます。	できる圧縮とはまったく異なるもので、特定のスキーマに対する使用のみに限定されます。	できる圧縮とはまったく異なるもので、特定のスキーマに対する使用のみに限定されます。	
バックアップ圧縮を使用できるか	使用できません。	使用できません。	使用できません。	使用できません。	アドオン。 DB2 9 で使用できるバックアップ圧縮を使用するには、 Storage Optimization Feature Pack を購入する必要があります。この Feature Pack は、DB2 Enterprise データ・サーバーでのみ使用でき、Value Unit 単位でのみ購入できます（ユーザー課金のライセンスはありません）。この Feature Pack にはデータ行圧縮機能も含まれています。
DB2 および Informix IDS データ・サーバーにわたる フェデレーション を使用できるか	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C 環境では使用できません。	いいえ。 この機能は、DB2 Express-C FTL 環境では使用できません。	アドオン。 Homogeneous Federation Feature Pack を購入することで DB2 Express データ・サーバーからのクエリを他の DB2 サーバーまたは Informix IDS データ・サーバーにフェデレートできます。IBM 以外のデータ・ソースにフェデレートする場合は、 IBM WebSphere Federation Server などの製品をご確認ください。	アドオン。 Homogeneous Federation Feature Pack を購入することで DB2 Workgroup データ・サーバーからのクエリを他の DB2 サーバーまたは Informix IDS データ・サーバーにフェデレートできます。IBM 以外のデータ・ソースにフェデレートする場合は、 IBM WebSphere Federation Server などの製品をご確認ください。	アドオン。 Homogeneous Federation Feature Pack を購入することで DB2 Enterprise データ・サーバーからのクエリを他の DB2 サーバーまたは Informix IDS データ・サーバーにフェデレートできます。IBM 以外のデータ・ソースにフェデレートする場合は、 IBM WebSphere Federation Server などの製品をご確認ください。
レプリケーション (Replication) を使用できるか	使用できません。	はい。 DB2 ファミリー製品に対する SQL ベースのレプリケーションが使用可能です。なお、Queue ベースのレ	はい。 DB2 ファミリー製品に対する SQL ベースのレプリケーションが使用可能です。なお、Queue ベースのレ	はい。 DB2 ファミリー製品に対する SQL ベースのレプリケーションが使用可能です。なお、Queue ベースのレ	はい。 DB2 ファミリー製品に対する SQL ベースのレプリケーションが使用可能です。なお、Queue ベースのレプリケーションが必要な場

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
		アプリケーションが必要な場合は、 WebSphere Replication Server をご検討ください。	アプリケーションが必要な場合は、 WebSphere Replication Server をご検討ください。	アプリケーションが必要な場合は、 WebSphere Replication Server をご検討ください。	合は、 WebSphere Replication Server をご検討ください。
テーブル・パーティショニング を使用できるか	使用できません。	使用できません。	使用できません。	使用できません。	含まれています。
データベース・パーティショニング を使用できるか	使用できません。	使用できません。	使用できません。	使用できません。	アドオン。 Database Partitioning Feature を購入することで DB2 Enterprise に区画化されたデータベース環境を作成できます。この機能によって、単一のデータベース・イメージを複数の物理サーバーにまたがって展開できます。この Feature Pack は、DB2 Enterprise データ・サーバーでのみ使用でき、Value Unit 単位でのみ購入できます（ユーザー課金のライセンスはありません）。
pureXML を使用できるか	含まれています。	含まれています。	アドオン。 pureXML の column storage サービスを DB2 Express で利用するには、 pureXML Feature Pack を購入する必要があります。なお、以前の方法（pureXML ほど有用でもパワフルでもなく機能強化もされていない）を利用して XML を保管する場合は、無償の DB2 XML Extender を引き続き使用できます。ご使用のデータ・サーバーで XML を活用したい場合は、このオプションを真剣に検討することをお勧めし	アドオン。 pureXML の column storage サービスを DB2 Workgroup で利用するには、 pureXML Feature Pack を購入する必要があります。なお、以前の方法（pureXML ほど有用でもパワフルでもなく機能強化もされていない）を利用して XML を保管する場合は、無償の DB2 XML Extender を引き続き使用できます。ご使用のデータ・サーバーで XML を活用したい場合は、このオプションを真剣に検討することをお勧めし	アドオン。 pureXML の column storage サービスを DB2 Enterprise で利用するには、 pureXML Feature Pack を購入する必要があります。以前の方法（pureXML ほど有用でもパワフルでもなく機能強化もされていない）を利用して XML を保管する場合は、無償の DB2 XML Extender を引き続き使用できます。ご使用のデータ・サーバーで XML を活用したい場合は、このオプションを真剣に検討することをお勧めし

機能、フィーチャーおよび利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
			ます。その機能は業界で比類のないものです。	ます。その機能は業界で比類のないものです。	
DB2 Query Patroller を使用できるか	使用できません。	使用できません。	アドオン。 DB2 Express 用の Workload Management Feature Pack が必要です。これには、コネクション・コンセンテーターと DB2 ガバナーを使用するためのライセンスも含まれています。	アドオン。 DB2 Workgroup 用の Workload Management Feature Pack が必要です。これには、コネクション・コンセンテーターと DB2 ガバナーを使用するためのライセンスも含まれています。	アドオン。 DB2 Enterprise 用の Performance Optimization Feature Pack が必要です。これには、DB2 Performance Expert も含まれています。なお、同じ Feature Pack の名前で DB2 Express と DB2 Workgroup 用には異なるコンポーネントが含まれていますので、間違えないようご注意ください。
DB2 Net Search Extender を使用できるか	ダウンロードして無償で使用できます。	ダウンロードして無償で使用できます。	含まれています。	含まれています。	含まれています。
Spatial Extender を使用できるか	ダウンロードして無償で使用できます。	ダウンロードして無償で使用できます。	含まれています。	含まれています。	含まれています。
Geodetic Extender を使用できるか	使用できません。	使用できません。	使用できません。	使用できません。	アドオン。 データに投影を適用する際に生じる歪みを許容できない空間アプリケーションを開発している場合は、(DB2 Spatial Extender の場合と同様に、たとえば、地球の湾曲を投影する場合)、この DB2 Enterprise 用の Feature Pack を購入することで高度な空間モデリング機能を追加できます。
DB2 Mobility on Demand が使用できるか	使用できません。 DB2 Everyplace 製品を購入すれば、DB2 Express-C データ・サーバーにモバイル機能を追加できます。	使用できません。 DB2 Everyplace 製品を購入すれば、DB2 Express-C FTL データ・サーバーにモバイル機能を追加できます。	使用できません。 DB2 Everyplace 製品を購入すれば、DB2 Express データ・サーバーにモバイル機能を追加できます。	使用できません。 DB2 Everyplace 製品を購入すれば、DB2 Workgroup データ・サーバーにモバイル機能を追加できます。	含まれています。 (訳注：原文を修正しています) DB2 Enterprise には Mobility on Demand Feature として含まれています。この Feature は、常時接続されていないクライアントのために、エン

機能、フィーチャー および利点	DB2 Express-C 9	DB2 Express-C 9 FTL	DB2 Express 9	DB2 Workgroup 9	DB2 Enterprise 9
					<p>タープライズ・データ・サーバーを拡張する、より費用効率の高い方法を提供します。</p> <p>Mobility on Demand は、DB2 Everyplace Enterprise 製品と同じ機能を持ちますが、この Feature を使用する場合は DB2 Enterprise データ・サーバーに DB2 Synchronization Server をインストールする必要があります。お客様の環境によっては、これによって柔軟性が制限される場合があります。</p>

以上で一通りの説明は終了です。

ビジネスによってニーズは異なりますが、すべてのビジネスで費用効率が高く、堅牢でスケーラブルなソリューションが必要です。各種の DB2 エディション、パッケージ、および Feature Pack により、コアの能力を犠牲にせずに、お客様に適した DB2 の機能を選択できます。さらに、DB2 はどれも DB2 であるため、どのエディションまたはパッケージを選択しても、DB2 の能力の拡張が必要になった場合に、将来の決定が制限されないのが安心です。必要なライセンスを購入してライセンス・キーをアップデートするだけで済みます。

パッケージングは絶えず変更されるため、この記事をつたたび読み返し、発行日や更新日に注意してください。

この記事では、お客様との会話や講演などの機会を通じて耳にした最も一般的な質問に関連して、各 DB2 データ・サーバーのエディションの相違や、DB2 Express-C および DB2 Express-C FTL のオファリングの相違を説明しました。この表に含まれているその他の基準の詳細については、私宛てにメールをお送りください。

特記事項

この記事に含まれている情報は、著者の最善の努力による個人的な知識に基づくもので、IBM からの正式な情報を伝えることを意図して記述されたものではありません。著者および IBM はこの記事に不正確な情報が含まれている場合でも責任を負いません。

リソース

学習

- DB2 UDB の開発者および管理者用のリソースの詳細については、[developerWorks Information Management zone](#) を参照してください。
- 最新情報については、[developerWorks technical events and webcasts](#) を参照してください。
- developerWorks コミュニティー向けの DB2 Express Edition の無償バージョンについては、[DB2 Express-C](#) を参照してください。

製品およびテクノロジーの入手

- 今後の開発プロジェクトにおいては、[IBM trial software](#) を使用して作成してみてください。developerWorks から直接ダウンロードできます。
- DB2 が無償で使用できます。DB2 Express Edition と同じコア・データ機能を提供し、アプリケーションの構築および配置のための堅固な基盤となる、developerWorks コミュニティー用の無償の DB2 Express Edition のバージョンは、[DB2 Express-C](#) からダウンロードしてください。

討論

- developerWorks コミュニティーを参照するには、[developerWorks blogs](#) にアクセスしてください。

著者について



Paul C. Zikopoulos (BA, MBA) は、IBM Database Competitive チームのメンバーで、講演者として受賞歴もあり、IDUG で基調講演も行っています。DB2 に 10 年以上の経験があり、DB2 に関する雑誌記事と著作物が多数あります。DB2 に関して多数の雑誌に執筆し、『DB2 - The Complete Reference』、『DB2 Fundamentals Certification for Dummies』、『DB2 For Dummies』、『DB2 Version 8: The Official Guide』、および『A DBA's Guide to Databases on Linux』の協同執筆者でもあります。同氏は DB2 認定アドバンスド・テクニカル・エキスパート (DRDA およびクラスター/EEE) および DB2 認定ソリューション・エキスパート (ビジネス・インテリジェンスとデータベース管理) でもあります。メール・アドレス : paulz_ibm@msn.com